

会場設営

1. コート周囲に選手用、アリーナ外周に付添用の椅子を配置する。
消毒はコロナ対策スタッフが行う。
2. マットのセッティングは組手モードとし、机椅子は形競技・組手競技両方のセッティングとする。
形・組手の間は椅子の移動だけ行う。
マットの消毒は審判員が行う。
3. 電子ホイッスルを各コートに用意する。
監査が持ち、判定の場合は主審が監査から借りる。

受付・招集

4. 進行状況を表示するボードを会場外に設置するので、招集時間の参考にすること。
5. 各種目ごとに競技開始予定時刻を設定し、それに合わせて選手の入替えを行う。
開始予定時刻は後日発表する。
6. アリーナへの入場は選手+付添1名のみとする。
付添以外の家族はアリーナ外で待機する。
但し、付添者が別に面倒を見なければならない子どもがいる場合は、一緒に入場することを認める。
7. 入場者全員（選手・付添・スタッフ）の検温と氏名・県連登録団体名の確認を行う。
※37.5℃以上の方は入場できない
8. 入場時に、手指のアルコール消毒を行う。
9. 入場者は全員マスク着用する。
入場時、マスク保管袋を選手に配布するので、選手は競技中のみマスクを外し、保管袋に入れて待機の椅子に置く。
保管袋の取り扱いの問題がある場合は、コート付きのコロナ対策委員が指導する。

審判員

10. 審判員には布手袋・フェイスシールドを配布する。
その後は各自で管理すること。

形競技

11. タブレットの消毒回数を減らすため、審判入替は選手入替時のみ実施する。
12. 赤・青の色分けはしない。
帯の色には制限を設けない。

組手競技

13. 練習用色帯、試合用赤・青帯の両方を認める。
14. 赤・青の表示紐は使用せず、メンホー側頭部に赤・青テープを貼る。
15. 安全具（メンホー・拳サポーター等）の共有・貸し借りをしない。